

おもちゃ図書館Q & A

17号

発行者：特定非営利活動法人おもちゃの図書館全国連絡会

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里2-25-11

電話03-6807-8813

FAX03-6807-8863

E-mail:renrakukai@toylib-jpn.org

テーマ 「木のおもちゃ」の管理と、おもちゃの活用方法について

おもちゃ図書館の活動が長くなると、使われなくなってしまったおもちゃを入れ替えるということもあると思います。おもちゃを長く楽しめるように、木のおもちゃのお手入れ方法と、使わなくなったおもちゃの利用方法について事例を紹介いたします。

木のおもちゃのお手入れについて



どこのおもちゃ図書館でも、木のおもちゃはいくつか置いてあるのではないのでしょうか？木のぬくもりや香りなど、見た目にも美しい物も多いのが魅力だと思います。丈夫で長く使うことができることも魅力です。



普段のお手入れはどうしたらよいですか？

普段は、柔らかい乾いた布で、ほこりや汚れを拭き取りましょう。

汚れがひどい時は、湿った(固く絞った)布で拭き取りましょう。またそのあとは乾燥させてください。

除菌での、アルコール消毒については、おもちゃに劣化や傷みがでるおそれがあります。最近ではアルコール除菌可能という木のおもちゃも販売しています。



古くなったおもちゃのメンテナンス

長く使っているうちにおもちゃの表面に手垢や汚れが付着して、汚れてきたときはまずは湿らせた布で汚れを優しく拭き取り、自然乾燥させます。乾燥後はメンテナンス剤(蜜蝋ワックスや自然オイル)を使用するとつやが復活します。

塗装されたおもちゃの場合は、紙やすりやサンドペーパーを使うと塗装がはがれてしまいます。塗装されていない無垢の積み木や、塗料が塗られていないおもちゃの場合は、紙やすり(サンドペーパー)を使って、汚れた部分を軽くこすり落とすこともできます。



毛羽立ちやささくれになった場合の手入れ方法は？

紙やすりで削る方法があります(塗装されたものは塗装がはがれてしまいます)

紙やすりで、木目にそって削って綺麗にする→木くずや粉を固く絞った布で拭き取る→乾かす→オイルを塗ってコーティングする

※紙やすりは数字が小さい程粗く、数字が大きい程細くなります。

※ささくれ等、削りたいという時は120番～180番～240番と粗い番から細かい番に移行します。



保管方法はどうしたらよいですか？

直射日光や冷暖房の風が当たる場所、湿気の多いところで保管しないようにしてください。



経年変化については？

木のおもちゃは丈夫で長く使うことができます。手垢や木の色の変化は、たくさん遊んで長く使ったということでもあり、良い風合いになり、味わい深いおもちゃとなります。

「木のおもちゃ」についてお話をお伺いしました

毎年レンタルアップされた木製おもちゃをおもちゃ図書館に寄贈していただいている、愛知県にあるキッズコーナーなどのおもちゃをレンタルしている㈱ビスモーゲンの田中斎社長にお伺いしました



レンタルに木のおもちゃを選んだ理由は？

自身の息子にキャラクターデザインのおもちゃではなく、木のおもちゃを中心に、国内外のデザインや色遣いの優れたおもちゃに触れさせていた経験と、幼児教育に従事していた妻の意見を参考に、海外の木製知育玩具を中心にセレクトしました。次にご案内する「木のおもちゃの良さ」を、ママパパや子どもたちに広く伝えていきたいという気持ちから、レンタルに、普段触れる機会の少ない木のおもちゃを選びました。もちろんプラスチック製や他の素材のおもちゃも多く取り揃えていますが、やはり木のおもちゃがいちばん多くなっています(笑)

木のおもちゃの良さについて教えてください

素材自体のぬくもりはもちろんのこと、木のおもちゃ同士がぶつかった時の音や、木目の美しさなど、自然を感じることができるところに、木のおもちゃの良さがあると思います。また、修理可能な点や、使い込むことで味がでるといった、いつまでも使うことができるサステナブルな素材であることが、親から子へ、子から孫へ、良いものをいつまでも大切に使うという文化につながっている点にも、特徴があると思います。さらに、海外や地方にある木のおもちゃは、その国や地方の歴史や伝統を、おもちゃを通して知ることができる文化的な要素もあり、学び知る喜びを得ることもできる木のおもちゃの良さかと思っています

点検時にどんなことに気を付けていますか？

まずはケガにつながるような箇所がないかを確認します。ささくれや部品の破損、ネジのゆるみはケガに直結するので、目視だけでなく、素手でさわってチェックします。またアルコール溶剤は塗装を溶かしてしまう可能性があるため、十分注意をして使用する必要があるかと思っています。さらに、抗菌・抗ウイルス剤を使用することで、不特定多数の使用による細菌やウイルスの影響を、少しでも低減するように気を付けています。こちらの溶剤は触ったりなめたりしても影響のない、専門機関の認定を受けた商品を使用しています

参考:エアピカ24® <https://www.airpika24.jp/>
(手軽なハンドスプレータイプもあります)

おもちゃを使用していて、一番壊れやすい場所は？

- ・ままごとキッチンの扉・・・無理な力で押して、金具のネジが緩むまたは扉が破損
- ・ままごとキッチンの側面・・・引っ張って動かすことで、側面底部がはがれてくる
- ・レール・・・特に曲線レールは、割れていてもくっついているので気づきにくい
- ・合板(ベニヤ)のはがれ・・・表面部分が乾燥で一部、もしくは全体がめくれる
- ・ネジの締めすぎ・・・必要以上にネジに力を入れてまわすことによる破損

この他にも車輪の軸の破損や、ルーピングの針金部分の表面素材のめくれ、プラスチック素材の割れなど、ままごとの調理器具や大工さんごっこの工具の割れなどがあります。通常のメンテナンスでは、一つ一つ丁寧に触って、目視することを徹底しています。

古くなったおもちゃについて

・木のおもちゃの時計版部分の色が汚れて変わってしまっていたところ
トイドクターへ依頼したら時計版部分の木に盤を張ってコーティングし綺麗に直してくれて、写真の様に仕上がりました。

・古くなった動物等の木のおもちゃ、リボンをつけてあげたりちょっとしたアイデアでもまた見た目が変わる場合もあります。

・塗装されたおもちゃを、塗装をし直すのは安全面や手間もかかります。
どうしても気になる場合は新しいものを購入する、または、「みんなが使ってこうなったんだね」と、木のおもちゃの良さを楽しんでください。



おもちゃの活用方法について

「新しいおもちゃと入れ替えたいけど置く場所がない」「年齢層が変わってきて最近はこのおもちゃは遊ばれてないなあ」「壊れてはいないけど、使う機会がない」など、おもちゃを置くスペースにも限りがあり皆さん工夫しながらおもちゃの管理をしている事と思います。

おもちゃを入れ替える手間はかかりますが、新しいおもちゃが入ると子どもたちも目を輝かせて喜ぶ姿があるのではないのでしょうか？

使わなくなったおもちゃの活用の参考になればと、事例を紹介します。

「おもちゃのリサイクル会」埼玉おもちゃ図書館県連絡会の事例

おもちゃのリサイクル会を始めたきっかけは、コロナ禍で活動を制限される中、おもちゃの整理をしているがまだ使えるのにもったいないという声が上がったことでした。

まずは役員会で試しに取り換えっこしてみようとお自身のお子さんが卒業したおもちゃも含めて各館から持ち寄ったところ、結構好評で、じゃんけんで引取先を決めるほどでした。これを機に、その後の交流会や研修会、定例会などに合わせて年に1～2回おもちゃリサイクル会を開いています。

事業拡大や、新規に始めたばかりでおもちゃが足りない館からは大変喜ばれ、対象年齢が違うなどで、なかなか出番がなかったおもちゃが他の館で人気だという話を聞くと有効利用してもらえて良かったなと思います。今後も細く長く無理なく取り組んでいきます。

おもちゃの種類は？

集まったおもちゃの数も種類も様々で、共通点は「まだ安全に遊べる」こと。ミニカー、楽器、絵本など色々です。
残念ながら売れ残ったおもちゃは持ち帰って頂いています。

呼びかけ方法やおもちゃの集め方など

交流会や、研修会など会員が集まりやすい行事と同時開催しています。行事開催のお知らせの中でおもちゃの提供も呼びかけています。おもちゃのリサイクル会の対象は今のところ県連の会員間のみなので数や種類に制限をしていません。



埼玉おもちゃ図書館県連絡会 会長 和賀貴子



おもちゃ図書館Q&A

「おもちゃの交換会」をしてみませんか！

子どもたちは日々成長し、遊びの世界も少しずつ変わっていきます。「もう遊ばなくなったけれど、まだきれいで壊れていないおもちゃがある」「捨てるのはもったいない…」そんな声を聞いたことはありませんか？

荒川区では、子育てや子どもの遊びに関わる団体が実行委員会を組む、年に一度「あらかわ子コミュニティフェスタ」を開催しています。おもちゃ&ボードゲームライブラリーin荒川ききも毎年参加し、「親子でボードゲームで遊ぼう」コーナーと「おもちゃの交換会」を担当しています。

おもちゃの交換会って？

ご家庭で使わなくなったおもちゃを持ち寄り、他のお友達のおもちゃと交換できるイベントです。毎年たくさんの子どもたちが参加してくれ、大人気のコーナーとなっています！

■参加方法

1. 受付 持参したおもちゃを受付で預けると、1つにつき「おもちゃ交換券」1枚をお渡しします。
2. 交換 交換券の枚数分だけ、ブルーシートに並べられたおもちゃの中から好きなものを選びます。
3. 出口 選んだおもちゃの数と交換券の枚数を確認し、交換券を渡して持ち帰ります。
※ぬいぐるみ・布製品・大きいサイズのおもちゃ・壊れているものは交換できません。
事前にご確認ください。

■準備・運営体制

「おもちゃ図書館」や地域の施設やボランティアの皆さんと協力し、事前に使わなくなったおもちゃを集めます。

交換会当日は、ブルーシートにおもちゃを並べ、消毒・動作確認を行います。

受付・交換・出口の各担当を決めます。

「受付担当」は、受け取ったおもちゃの動作確認と持ってきたおもちゃの数を
確認し、「おもちゃ交換券」を配布し、「おもちゃ」を「交換担当者」に渡します、

「交換担当」は、おもちゃを受け取り消毒しブルーシートの上に置きます。

「出口担当」は、こどもの選んだおもちゃの個数と「おもちゃ交換券」の枚数を確認し「おもちゃ交換券」を回収します。

おもちゃ&ボードゲームライブラリーin荒川きき 代表 鈴木訪子



閉館する時のおもちゃについて…

「おもちゃ図書館を閉じることにしたので、おもちゃをどの様にしたらよいか」と問い合わせもあります。地域の子どもにかかわるグループや団体、保育所等でその後も有効に使ってもらえたり、中には全国連絡会に送っていただき(送料はご負担いただいています)、その後こちらでおもちゃ図書館の皆さんに声掛けすることもありました。

おもちゃ図書館でそろえたおもちゃ、思い入れがあったりまだ使えるのに…と思うこともあると思いますのでそんな時には、処分する前に使ってくれる団体等に声掛けしてみてください。

相談事業担当者より

自分の所では眠ってばかりのものでも、どこかで喜んでもらえる、楽しんでもらえる、役に立つは嬉しい事です。渡す時のエチケットも大切です。

最近「昭和にハマった小学一年生」のため、いろいろとおもちゃを探すことになりました、こんな時が来るなんて思ってもいませんでした。(青塚)

相談事業担当(青塚・川田・岸・山本・和賀)